

●本製品は、ノンケーシングタイプNC90は壁厚（50～75mm）、NC115は壁厚（76～100mm）に取付けられます。

**■施工される方へのお願い**

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

- 取付け調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。
- 建付け調整後、本体の鴨居へのかかりが十分か、本体と縦枠の上・下部にチリが均等か、確認してください。調整が不十分な場合、本体が外れるおそれがあります。
- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

**■施工上のお願い**

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみ等の原因となります。（本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。）
- 本体は落下させたり、立てかけるときに衝撃を与えないでください。戸車部の樹脂部品が傷付き、開閉に支障をきたすおそれがあります。
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどのないように（特に中縦枠）注意してください。
- 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のLDねじでは取付けできません。現場にて鉄骨までかかる長さのねじを手配して取付けてください。
- 現場で使う接着剤は、「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。

**■部品・部材の明細**

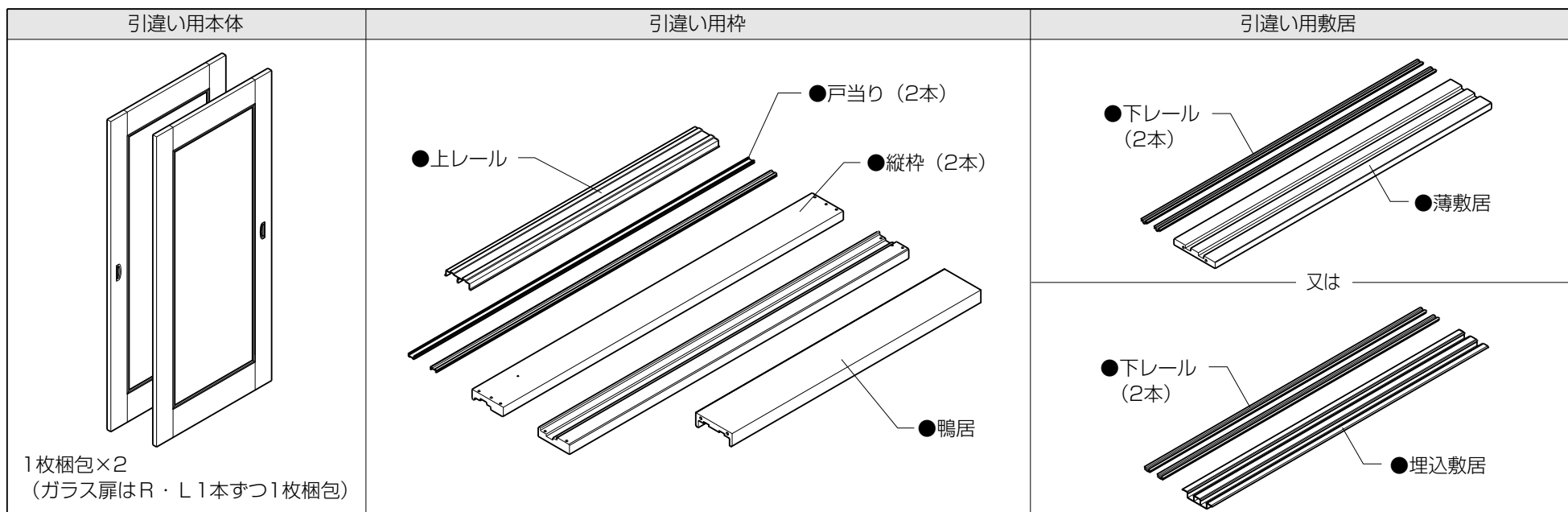
**■枠セット**

		引違い	片引き
枠	鴨居	1	1
	縦枠	2	1
	中縦枠	—	1
	小縦枠	—	1
	上レール	1	1

		引違い	片引き
敷居	敷居	1	1
	下レール	2	1

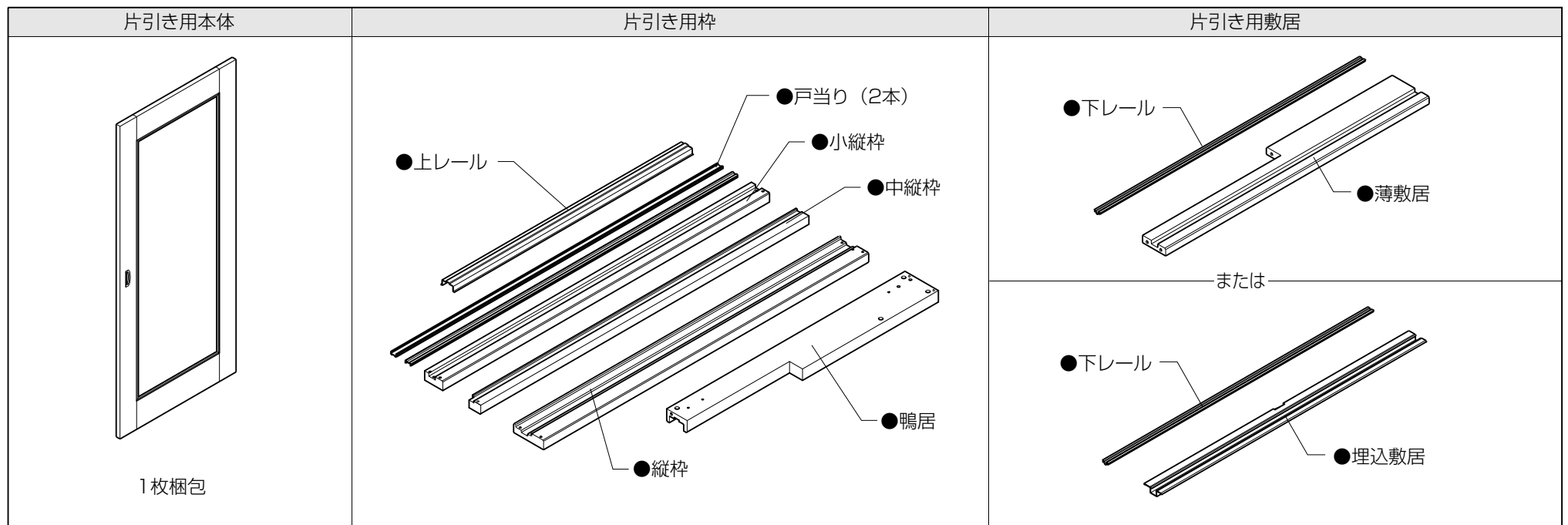
		引違い	片引き
部品プラン	引違い・片引き用	1	1

※枠はノックダウン、本体は完成品



## ■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品



## ■部品セット

### 〔片引き・引違い用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本
縦枠取付け用なべタッピンねじ(LDビス)φ4.1×60	16本
組立て穴埋め用穴埋めシール(8個入り)	1

### 〔引違い/薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
---------------	----

### 〔片引き/薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	5本
---------------	----

### 〔引違い/埋込敷居用〕

敷居取付け用なべタッピンねじφ4×40	6本
---------------------	----

### 〔片引き/埋込敷居用〕

敷居取付け用なべタッピンねじφ4×40	6本
中縦枠埋込敷居スペーサー	1個

### 〔引戸錠セット〕

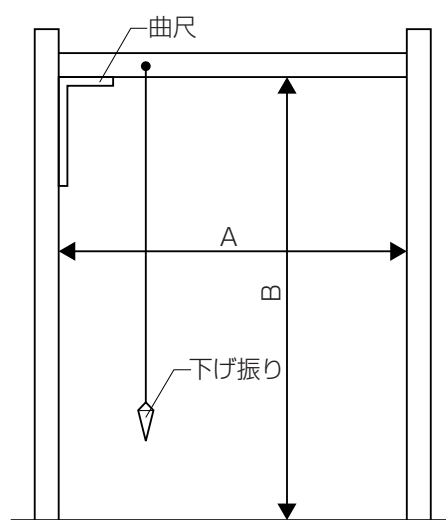
サムターン本体	1本
サムターン取付け用皿小ねじM3×10	2本

## ■開口部の作り方

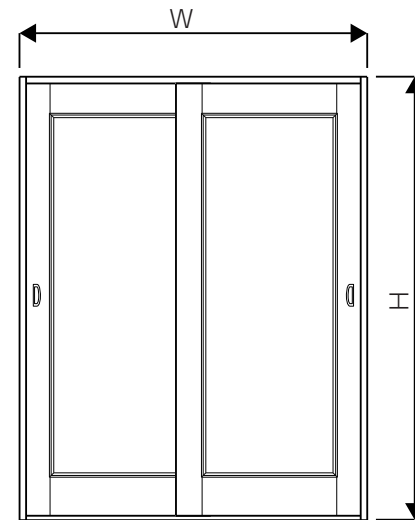
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

### ●開口寸法



### ●製品寸法

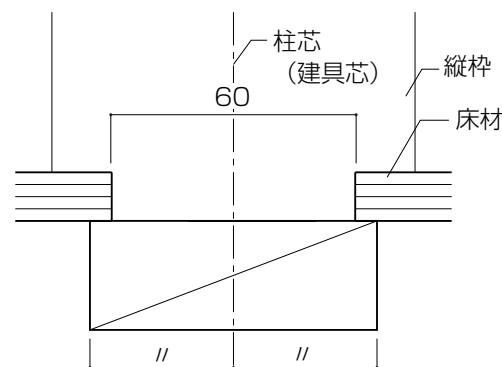


## ■床の張り方

### 〔床先張り（枠後付け）の場合〕

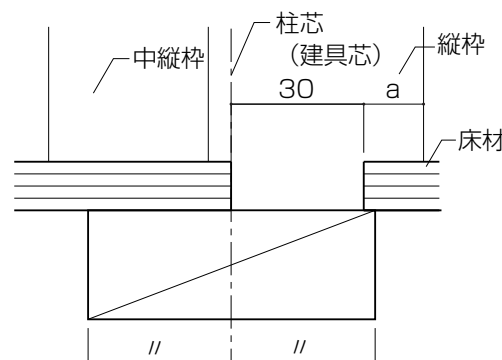
#### ●引違い枠

※床材は、柱芯（建具芯）を中心に60mmあけて張ってください。



#### ●片引き枠

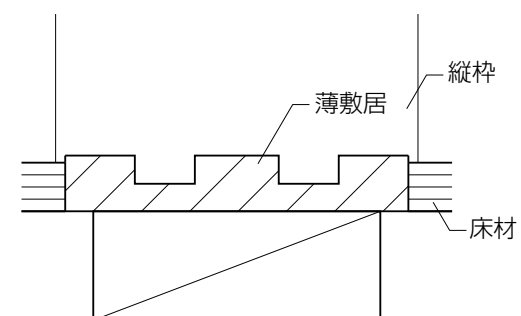
※床材は、柱芯（建具芯）より引込み側に30mmあけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所に30mmあけて張ってください。



枠機種	a寸法
NC90	15
NC115	27.5

(単位：mm)

### 〔床後張り（枠先付け）の場合〕



※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。

## ■取付け順序

### 1 枠の組立て

#### 〔床先張り(枠後付け)の場合〕

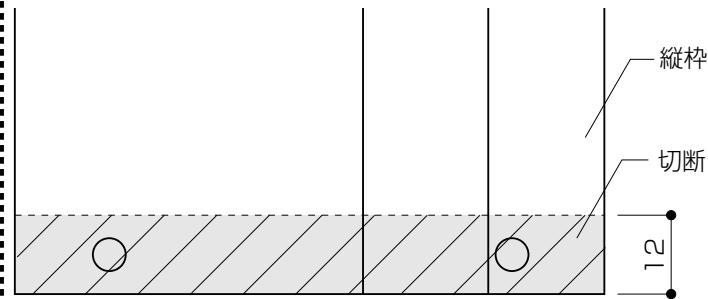
※埋込敷居を使用してください。

●図のように、各部材を組合せ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

※90mm枠幅の場合は、ねじ頭に穴埋めシール(同梱)を張ってください。

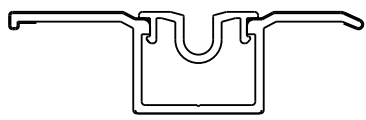
#### 〔A部詳細図〕

※縦枠(斜線部)を切断してください。切断する際は、下部に付いている部品を取外してください。切断後は、この部品は不要です。

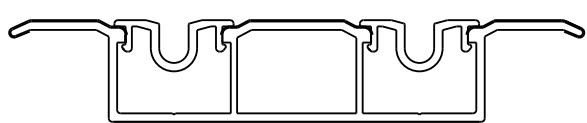


#### 〔埋込敷居〕

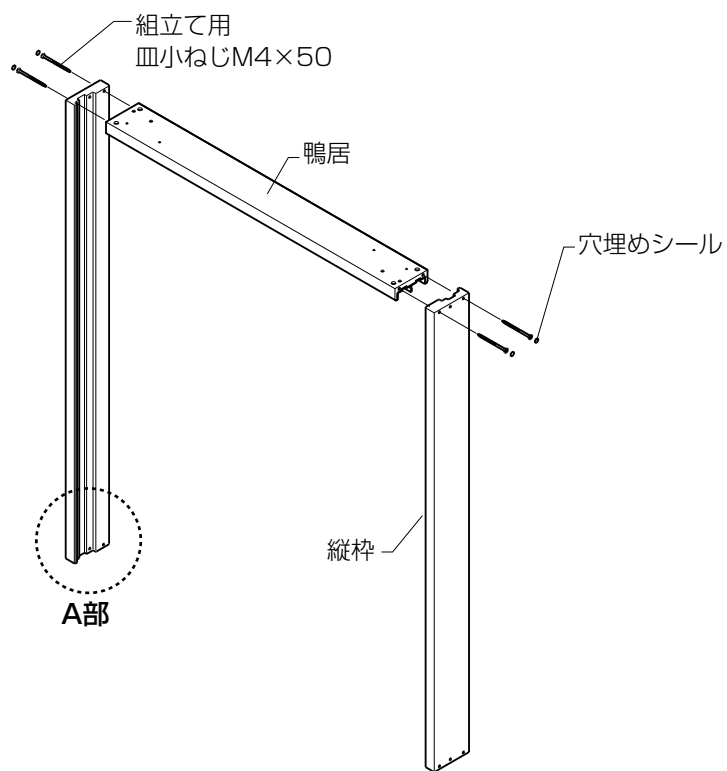
●片引き



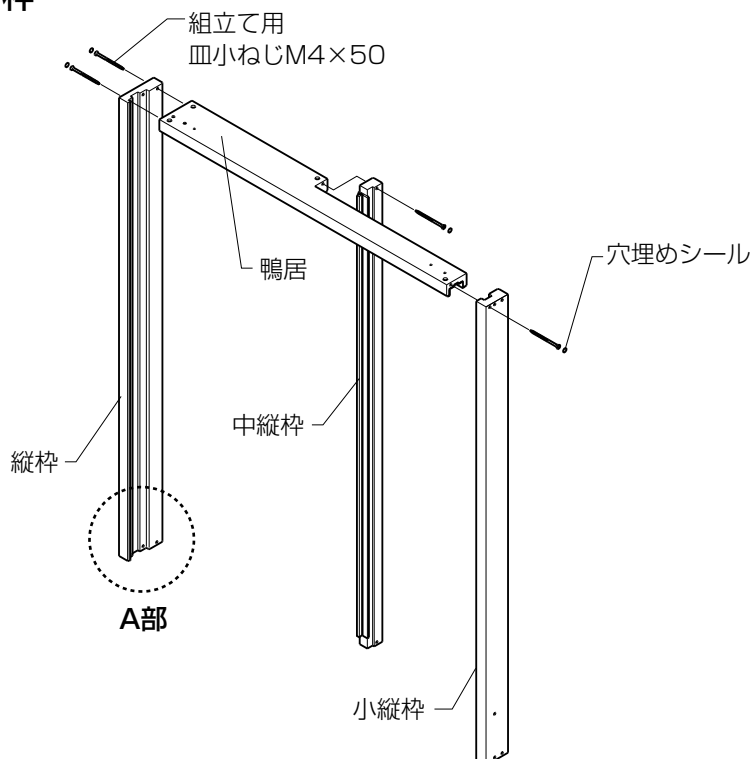
●引違い



●引違い枠



●片引き枠



#### 〔床後張り(枠先付け)の場合〕

※薄敷居を使用してください。

●図のように、各部材を組合せ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

※90mm枠幅の場合は、ねじ頭に穴埋めシール(同梱)を張ってください。

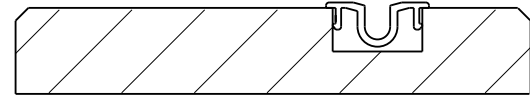
#### 〔B部詳細図〕

※縦枠(下穴加工済み)を切断せずに使用してください。

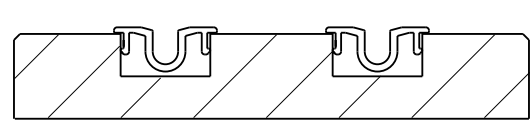


#### 〔薄敷居〕

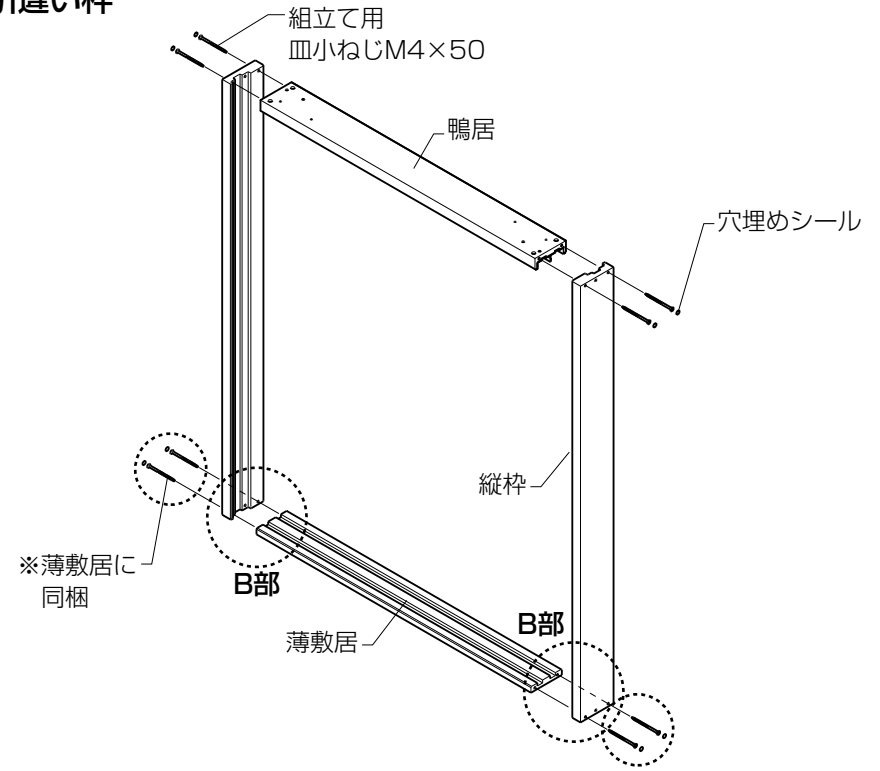
●片引き



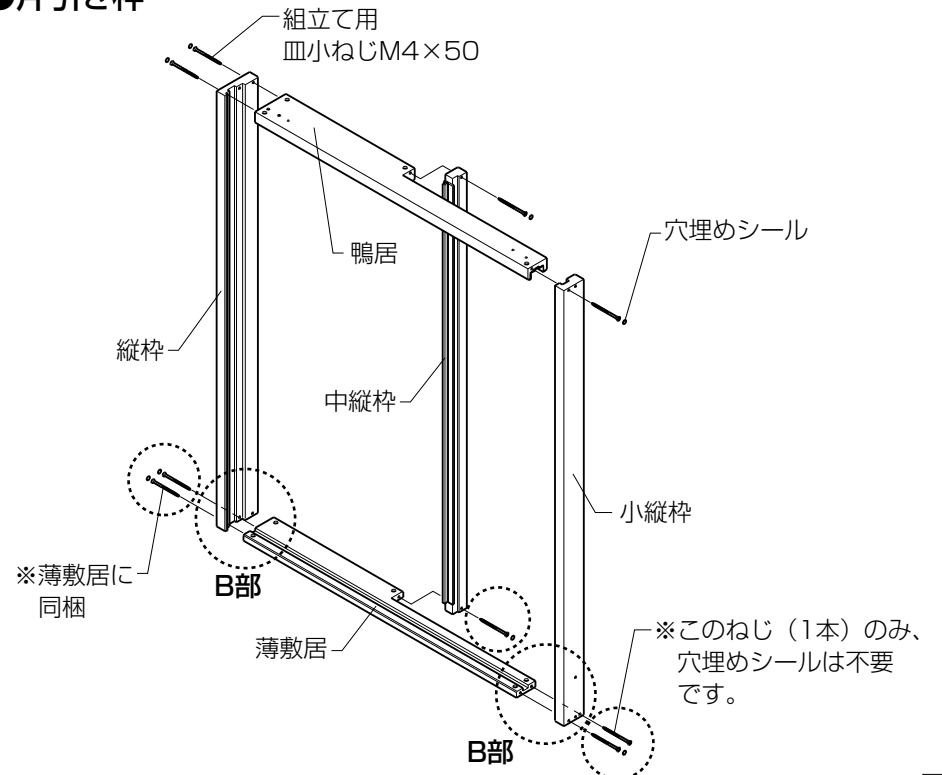
●引違い



●引違い枠



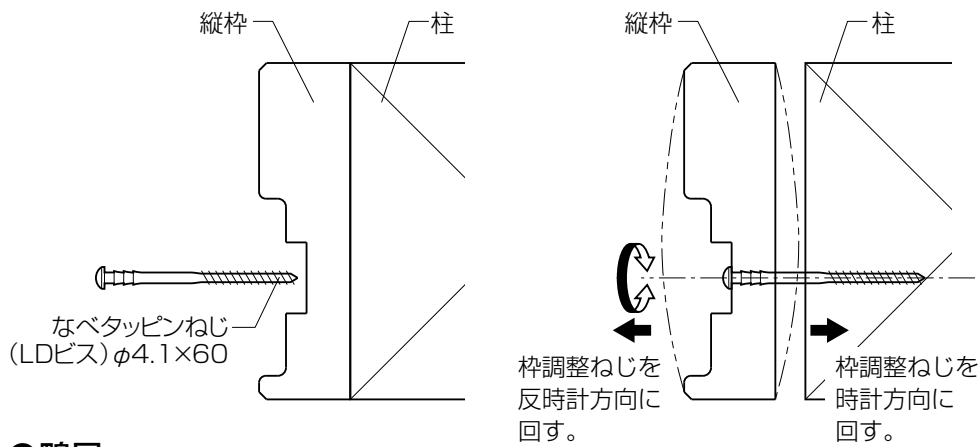
●片引き枠



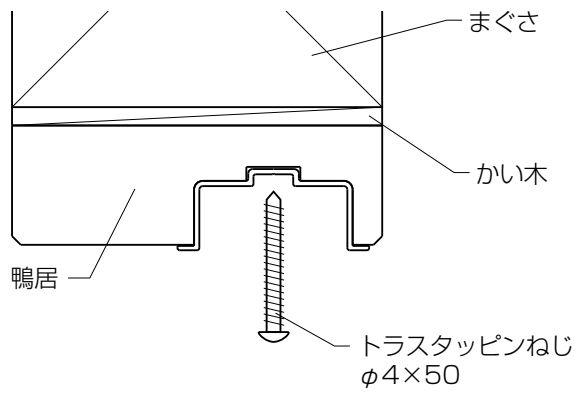
## 2 枠の取付け

●枠を枠調整ねじで固定して枠が、水平・垂直になるように調整して、かい木を入れて固定してください。

### ●縦枠・小縦枠



### ●鴨居



#### お願い

●鴨居の躯体固定ねじを締込み過ぎると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊り込み時に動きが悪い場合はねじをゆるめてください。

#### 注意

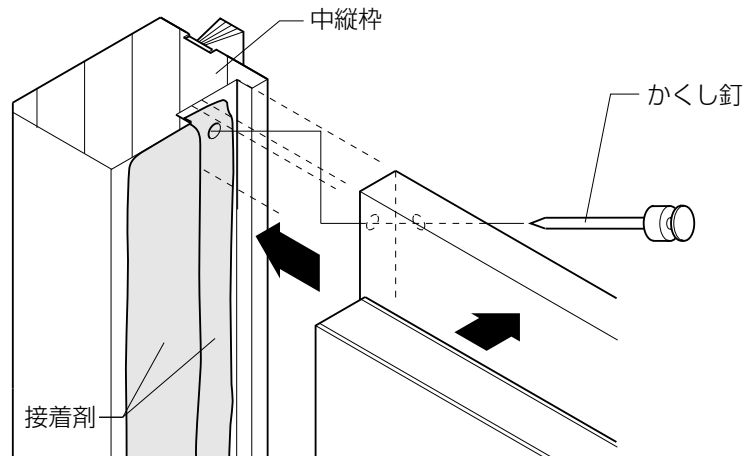
●取付け調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

#### お願い

※片引きの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。  
※軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のLDねじでは取付けできません。現場にて鉄骨までかかる長さのねじを手配して取付けてください。

### ●中縦枠

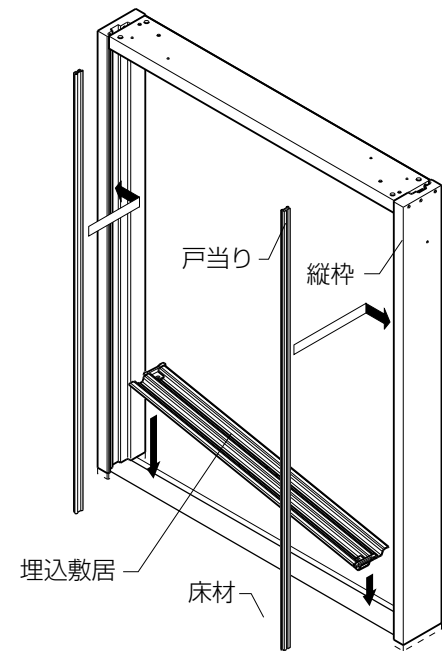
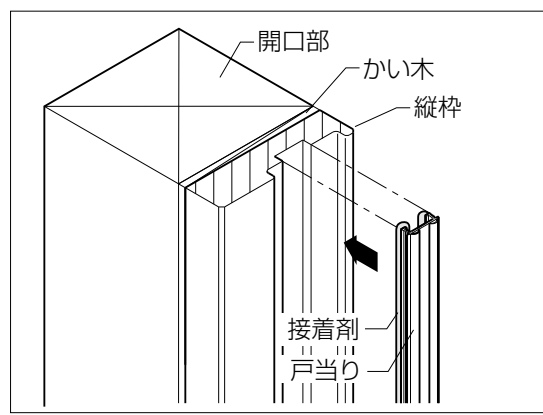
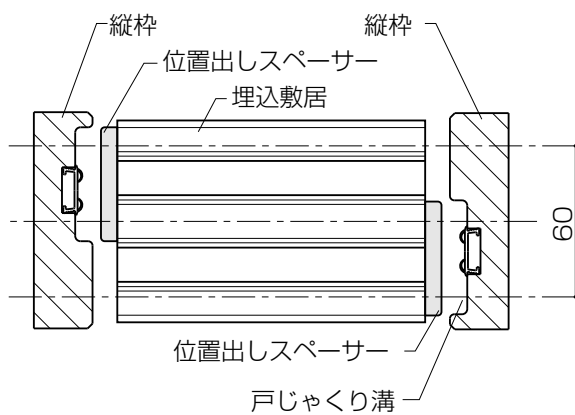
※裏面に接着剤を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



## 〔埋込敷居の取付け〕

### ●引違い枠（特注4枚建枠は引違い枠に準じる）

- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
  - ②同梱のねじで固定します。
  - ③戸当りに接着剤（現場手配）で溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。



## 〔床後張り（枠先付け）の場合〕

### ●床材厚さ12mm

※必ず薄敷居に接着剤を付け、躯体に固定してください。

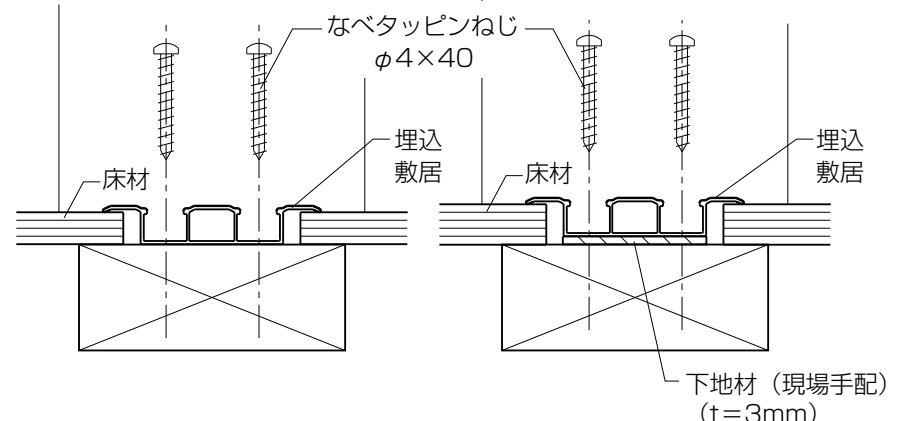
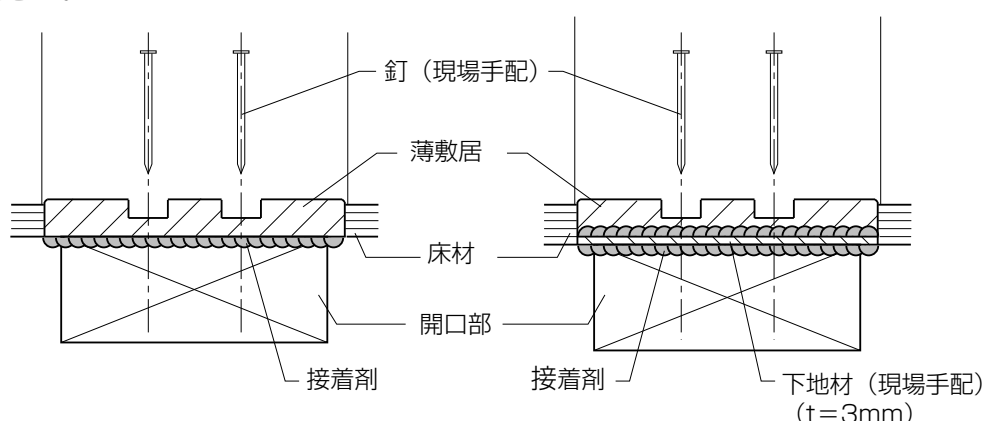
※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤と併用して取付けてください。

### ●床材厚さ15mm

※必ず薄敷居と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。

### 〈床材厚さ12mm〉

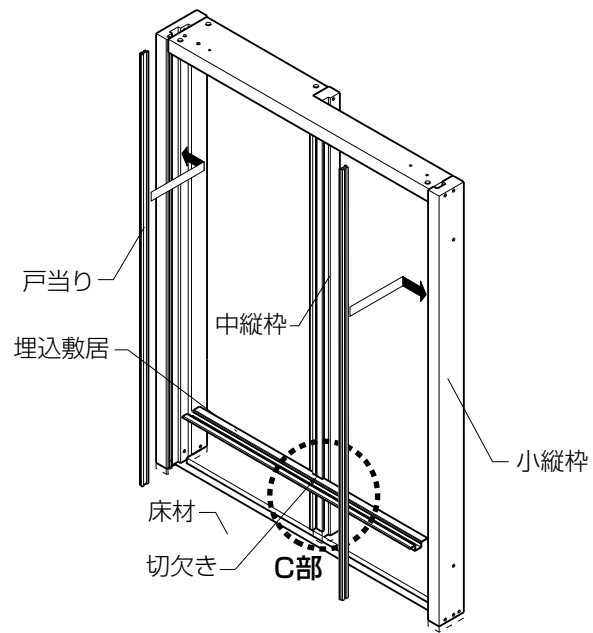
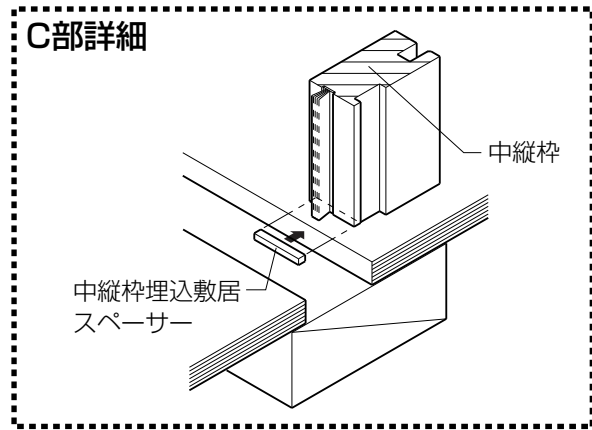
### 〈床材厚さ15mm〉



●片引き枠（特注引分け枠は片引き枠に準じる）

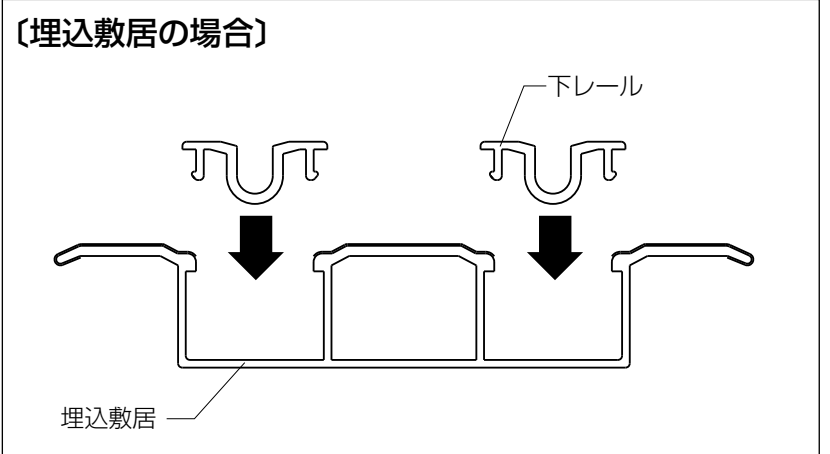
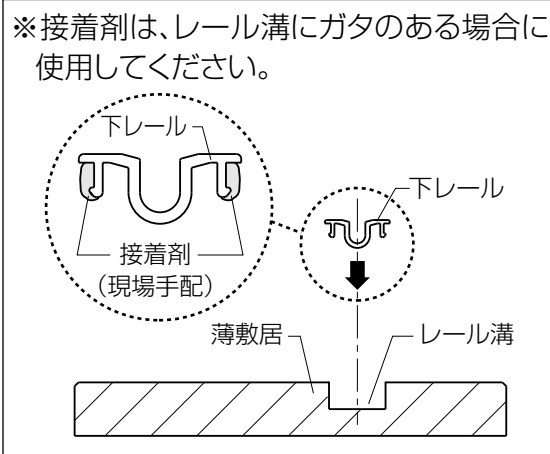
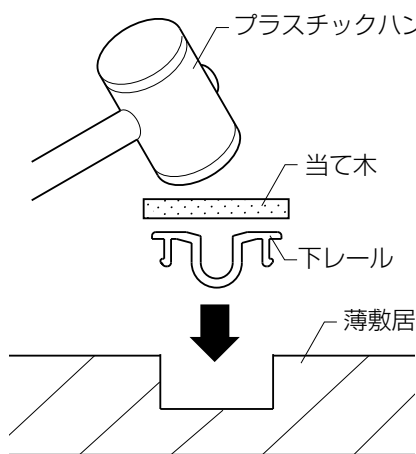
- ①埋込敷居同梱の中縦枠埋込敷居スペーサーを中縦枠のすき間に入れてください。
- ②埋込敷居の切欠きを中縦枠に合わせます。

※以下は引違い枠を参照してください。



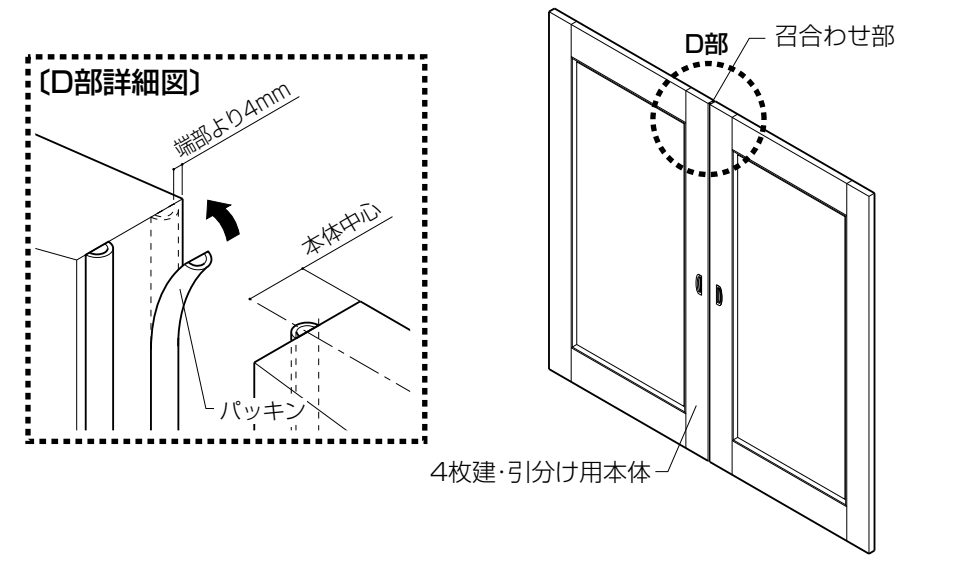
③ 下レールの取付け

●敷居の溝にプラスチックハンマー等でたたき込んで固定します。



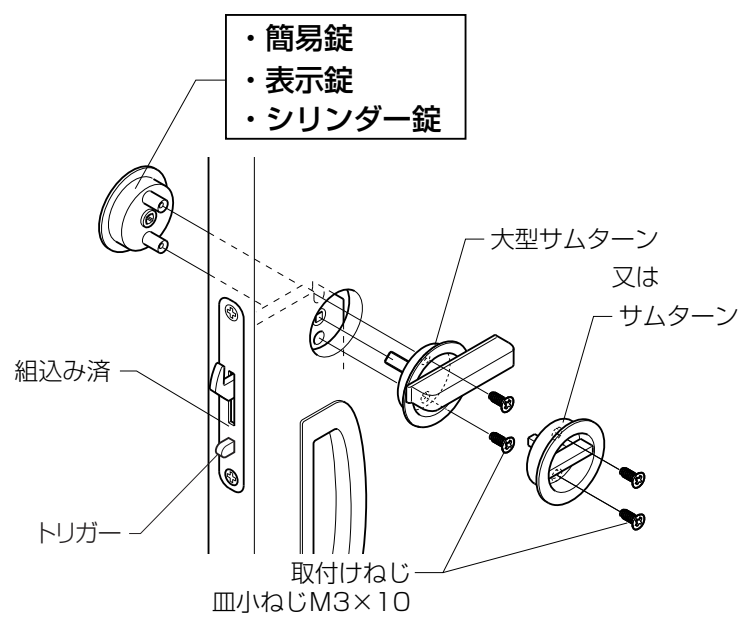
■召合わせパッキンの取付け（特注4枚建・特注引分けのみ）

※4枚建・引分け用本体の召合わせ部に、枠と同梱のパッキンを取付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押し張付けてください。（パッキンは枠のダンボールに入っています。）



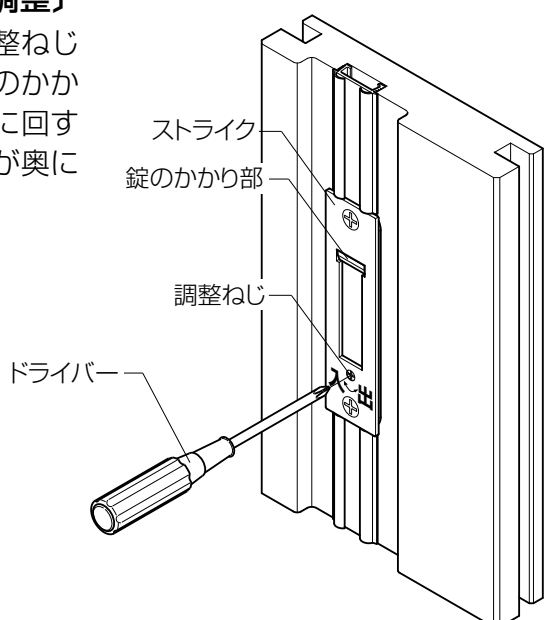
■引戸錠（サムターンの取付け）

別売りの錠を下図のように組立ててください。  
 ※取付けねじを締めるときに、いったんトリガーを押さえて閉状態にしてから取付けてください。大型サムターンの場合は、ツマミを水平状態にしてから取付けてください。  
 ※大型サムターンは表示錠のみの設定になります。



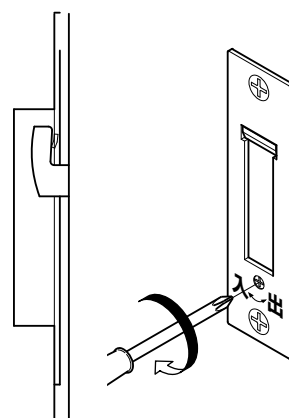
〔引戸錠のかかり調整〕

●ストライクの調整ねじを左に回すと錠のかかり部が出て、右に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



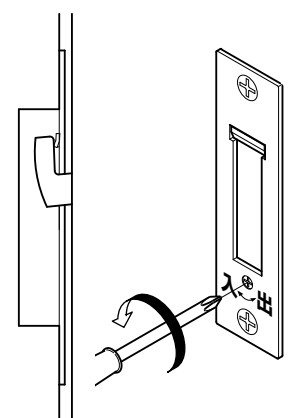
●本体と枠のすき間が大きい場合

調整ねじを右に回して調整してください。



●錠がかかりにくい場合

調整ねじを左に回して調整してください。



## ■引戸本体の建付け調整

●本体には、上下方向、左右方向およびブレーキ力の調整機能付いています。

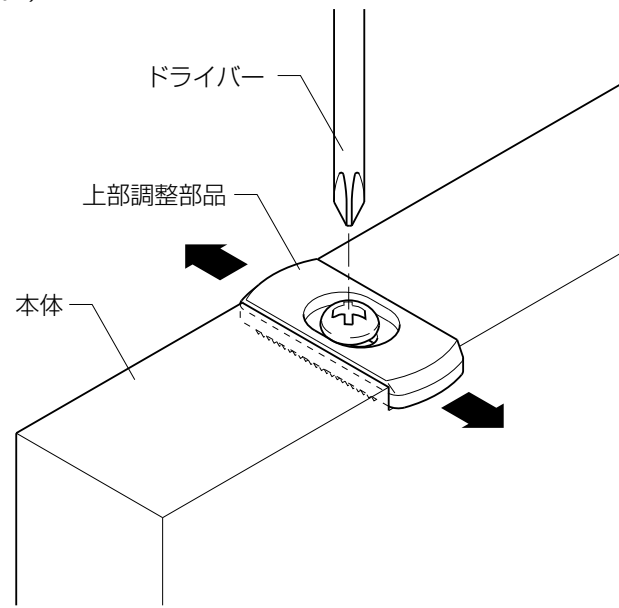
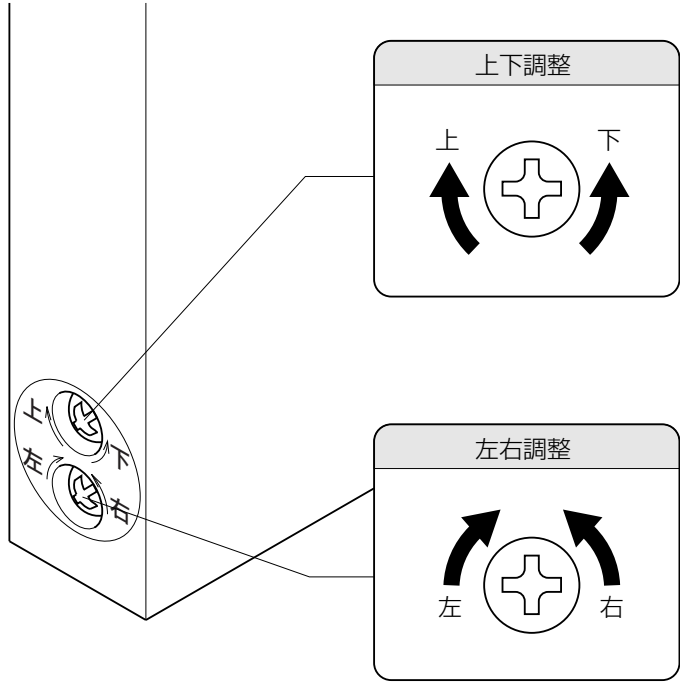
〔上下調整(調整幅+4mm、-2mm)〕

●本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

〔左右調整(調整幅±2mm)〕

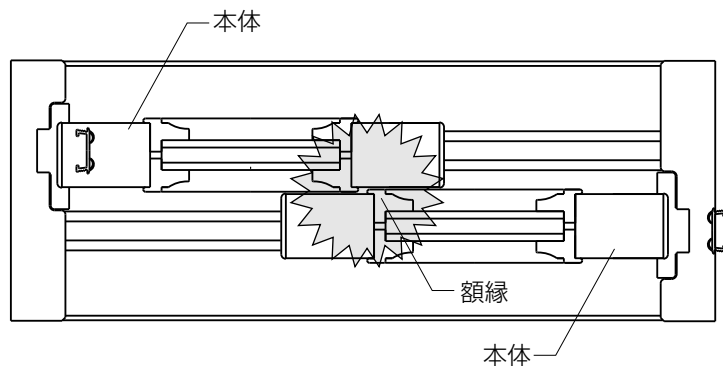
①本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。

②本体上端の上部調整部品のねじを緩め、①で調整した分だけ上部調整部品をズラし、ねじを締直します。(本体が常に垂直になるように調整してください。)

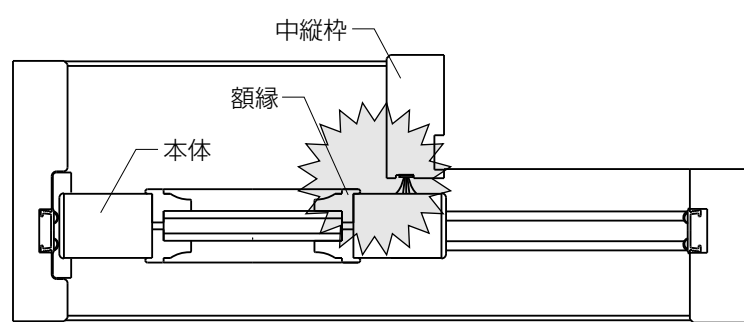


※前後調整する場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整ください。

●引違い



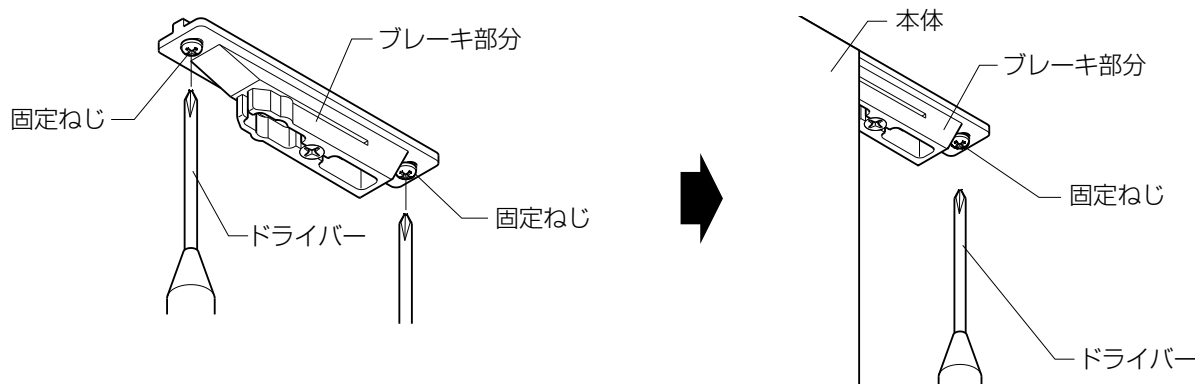
●片引き



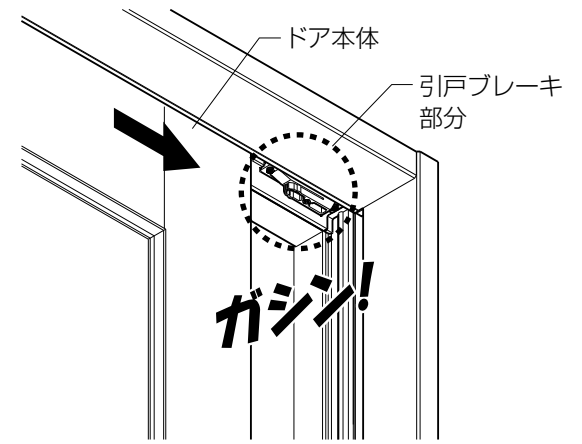
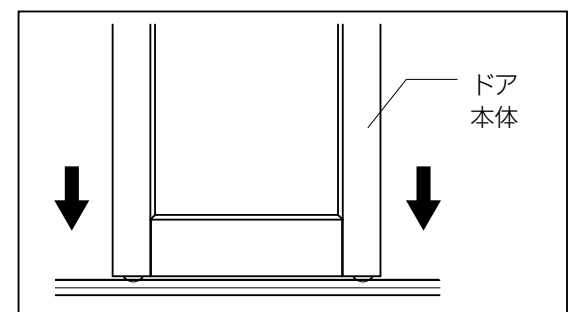
### 〔ブレーキの前後調整〕

本体の前後調整時、ブレーキの前後調整も行ってください。

上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじを緩め、図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。

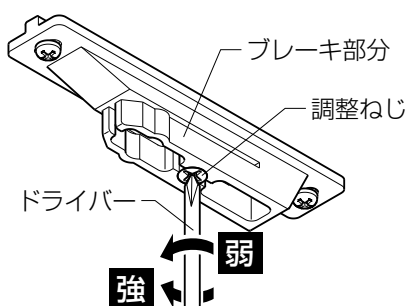


●本体がブレーキ部品にあたる時は、上下調整ねじを回して本体を下げてください。



### 〔ブレーキ力調整〕

上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。



お願い

●調整は必ず手回しドライバーを使用してください。

※電動ドリルは使用しないでください。

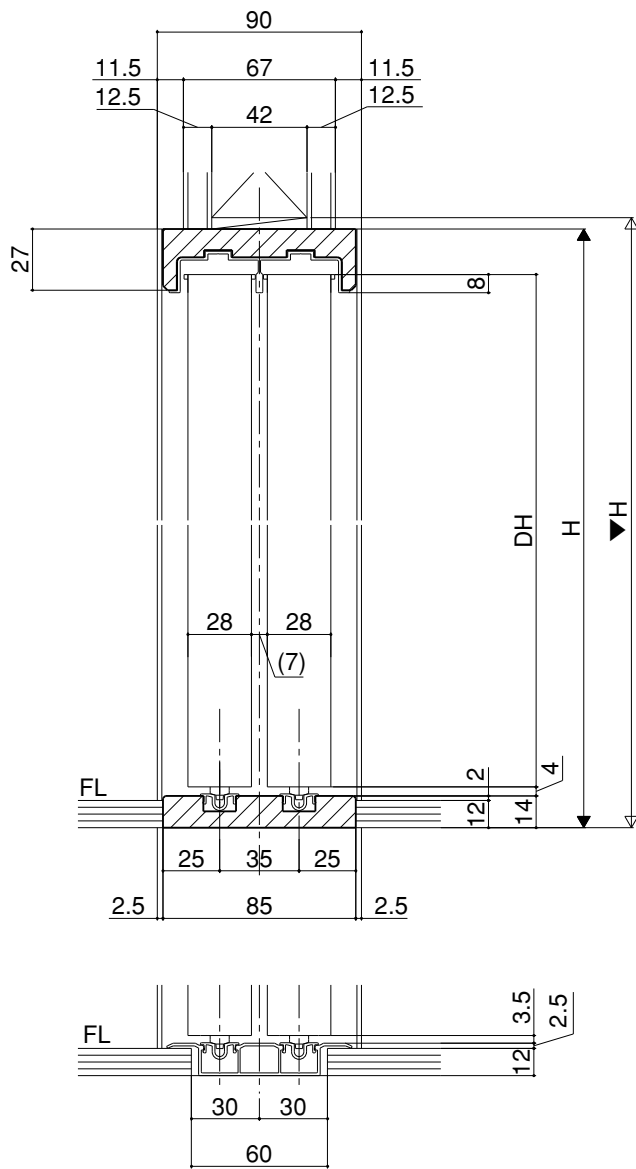
●調整ねじを弱方向に回す場合、ねじ頭がブレーキの表面より出すぎないように調整してください。回すぎるとねじが抜けます。

※出寸法を1.5mm以下としてください。

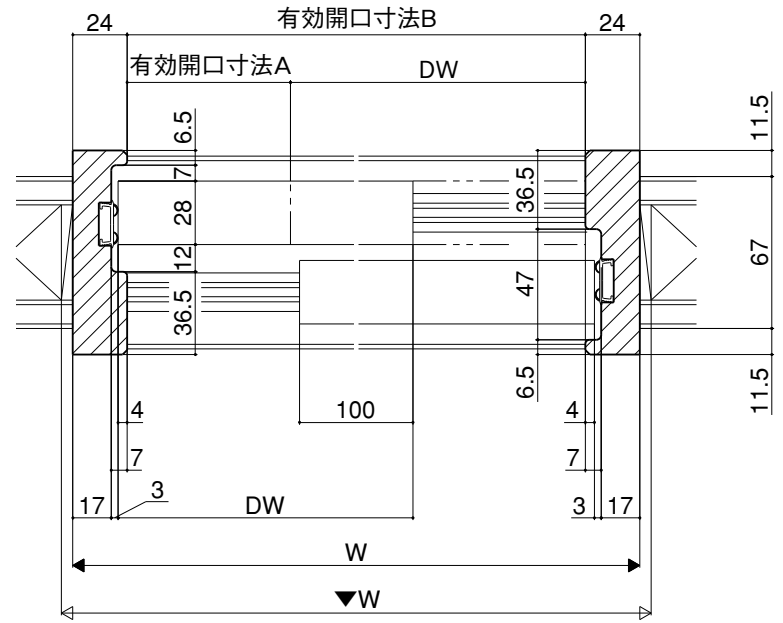
■納まり図

●引違い戸2枚建ユニット

縦断面図



横断面図

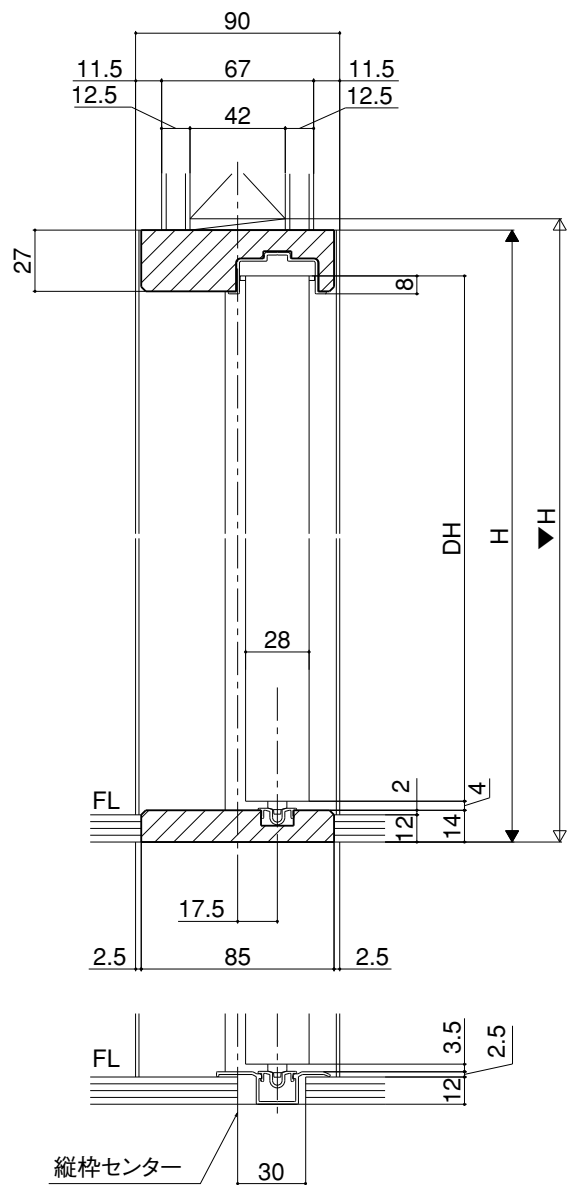


※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。

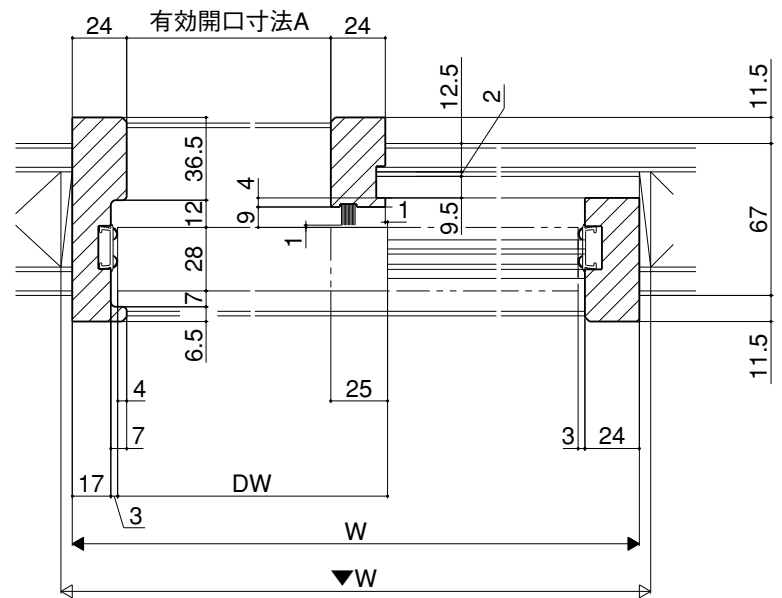
W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16 (1644)	744	1596

●片引戸ユニット

縦断面図



横断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W12 (1192)	556
W14 (1478)	699
W16 (1644)	782

